

総合振興計画審議会だより

第4号



発行：朝霞市役所 政策企画室 平成26年3月発行
TEL:048-463-3089 FAX:048-467-0770

様々なドラマの生まれたソチオリンピック、パラリンピック。2020年東京での開催は6年後！このとき朝霞市はどんなまちになってほしいですか？

第4回 審議会 ～市民の声を踏まえての計画づくりを進める～

平成26年2月7日（金）午前10時より、朝霞市立図書館にて朝霞市総合振興計画審議会の第4回会議が開かれました。

今回の会議では、「朝霞市の将来人口推計」「市民意識調査の結果」「第5次総合振興計画基本構想の見直し論点」について議題といたしました。

人口推計については、市の人口は平成41年に約13万5千人でピークを迎え、その後ゆるやかに減少していく、との推計案を採用し、これをもとに市の将来像などを考えていくことに決めました。また、現在の市内の土地利用や産業、就労、財政状況などをまとめた市の現況と、市民意識調査やおもてなしカフェで出された市民の方からの意見について、資料をもとに事務局より説明を行い、会議は閉会となりました。



【アンケートへのご協力ありがとうございました！】

10月下旬、市民アンケート（市民意識調査、青少年アンケート）を、無作為に選んだ4,000人の方へ発送させていただき、多くの方からご回答いただくことができました！

アンケート結果は集計・分析のうえ、結果報告書としてとりまとめていますが、後日報告書はホームページへも掲載する予定です。いただいたご意見は、第5次総合振興計画をつくる際の貴重なデータとさせていただきます。ありがとうございました♪

事務局より

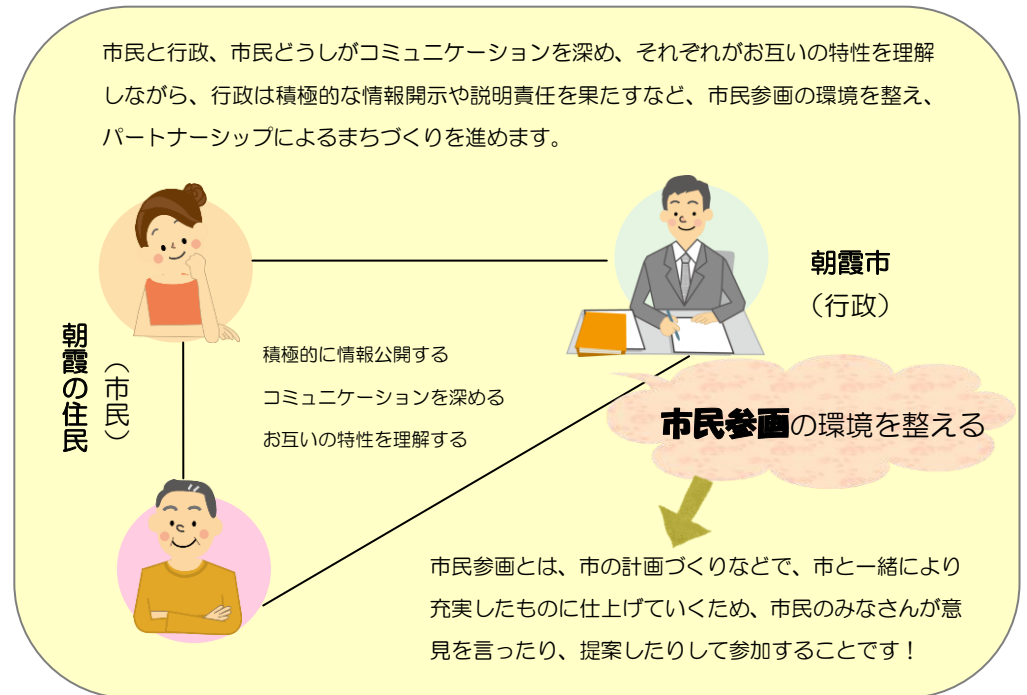
春以降、基本構想の大枠が見えてきます。ぜひ傍聴に来てください♪（ま）
第5号では、「おもてなしカフェ」「分野別市民懇談会」の模様をお届けします！（あ）



【パートナーシップによるまちづくり】

第4次総合振興計画でめざす将来像「水と緑に満ちた やすらぎと生きがいのあるまち 朝霞」。この将来像を実現するための基本方針として、「パートナーシップによるまちづくり」を掲げています。

市民と行政、市民どうしがコミュニケーションを深め、それぞれがお互いの特性を理解しながら、行政は積極的な情報開示や説明責任を果たすなど、市民参画の環境を整え、パートナーシップによるまちづくりを進めます。



【市民参画の方法は？】

市民のみなさんが市の計画などに参加するには、附属機関（審議会、協議会など）の委員となる、市民説明会（公聴会、フォーラムなど）に参加する、パブリック・コメントに意見を寄せるなどのほか、ワークショップやアンケートに参加する方法があります。

第5次総合振興計画づくりでは、アンケート、ワークショップ、市民懇談会、パブリック・コメントなど、できる限り多くの市民の皆さんが参加していただける場をつくりたいと考えています。